

福島第一原子力発電所の状況

2015年5月18日
東京電力株式会社

<1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (5/18 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約2.0 m ³ /h	20.5 °C	0.5 kPa g	A系： 0.00 vol%
		給水系：約2.4 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約2.3 m ³ /h	27.2 °C	5.02 kPa g	A系： 0.04 vol%
		給水系：約1.8 m ³ /h			B系： 0.04 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約2.3 m ³ /h	24.0 °C	0.24 kPa g	A系： 0.04 vol%
		給水系：約2.0 m ³ /h			B系： 0.05 vol%

<2. 使用済燃料プールの状況> (5/18 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	22.5 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	20.9 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	19.1 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	18.9 °C

※ 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘビドラジンの注入を適宜実施。

<3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況>

号機	排出元	→	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	5/16 11:10 ~ 5/18 10:05 移送実施
2号機	2号機 タービン建屋	→	3号機タービン建屋	5/18 10:51 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	5/16 10:41 ~ 5/18 9:41 移送実施

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (5/18 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設 備(ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	停止中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中*2	ホット試験中*2	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

<5. その他>

・2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。

2015/4/30 12:00～ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1～4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。

・1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施しているが、5/13に採取した2号機放水路上流側立坑水の全ベータの値及びトリチウムの値が前回値と比較して大幅に高い濃度であることを確認した。

	5/13 採取	前回値(4/6)
全ベータ:	73,000Bq/L	1,100Bq/L
トリチウム:	2,300Bq/L	150Bq/L

上昇した原因は今後調査を実施するが、採取した水に別の試料の放射性物質が混入した可能性があることから、再度、2号機放水路上流側立坑水を採取して分析を実施する。

なお、以下の理由により、本事象による外部への影響は無いものと考えている。

- ・当該放水路は土砂により閉塞していること、また、出口付近はゼオライト土嚢が設置されていることから直接外洋に流出しないこと。
- ・当該放水路出口は、海側遮水壁の内側であること。
- ・港湾内外の放射性物質濃度に有意な変動が確認されていないこと。

5/15に採取した水の分析結果については、全ベータ値が63,000Bq/Lと前回と同様に高い濃度であることを確認。なお、同立坑周辺の地下水観測孔の全ベータ値については、高濃度の値は確認されていない。引き続き、同立坑の監視強化を行うとともに、上昇原因について調査を実施する。

・2015/5/15 ボックスカルバート内に収納されている高性能容器(HIC)からの水の滴下について、セシウム吸着塔一時保管施設第二施設に保管されているHIC(全数683基)の点検(水溜まりの確認)を行っているが、新たに5基のHICに水溜まり等を確認。5/14現在、157基のHICの点検を完了しているが、これまでに合計20基のHICについて、水溜まり等を確認。

【水溜まりを確認したHIC】

【製造番号】

- | | |
|-------------------|----------------------|
| ・N7ボックスカルバート内HIC | → PO641180-83(水溜まり) |
| ・L6ボックスカルバート内HIC | → PO641180-88(にじみ) |
| ・N5ボックスカルバート内HIC | → PO641180-145(水溜まり) |
| ・AJ7ボックスカルバート内HIC | → PO646393-174(にじみ) |
| ・N7ボックスカルバート内HIC | → 625899-179(水溜まり) |
- 今後、残りの526基のHICについても、引き続き点検を行っていく。

【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

・2015/3/16 1号機の原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体工事に向けて準備工事を開始。

建屋カバー解体作業は、飛散防止剤散布等のダストの飛散抑制対策を十分に実施するとともに、ダストモニタおよびモニタリングポストにてダスト濃度等の監視を十分に行いながら慎重に進めていく。

5/15 6:45 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を開始。

【海水配管トレンチ立坑閉塞充填作業状況】

【2号機】・2015/2/24～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を実施中。

【3号機】・2015/5/2～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を実施中。

【4号機】・2015/4/15～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、開口部への閉塞材料の充填作業を実施中。

【地下水バイパス揚水井の状況】

・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。

・地下水バイパス一時貯留タンクグループ1の当社および第三者機関による分析結果[採取日5/8]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<H6エリア周辺のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査／対策工事の実施状況】

＜地下水観測孔サンプリング実績＞

・5/14 に採取した地下水観測孔 No. 1-9 の全ベータの値については、前回の分析値が 49Bq/L(採取日 5/12)であったが、今回は 2,800Bq/L に上昇。分析過程における放射性物質の混入も考えられることから、再度、地下水観測孔 No. 1-9 の水を採取して分析を実施する。

なお、港湾内の分析結果において、前回と比較して有意な変動がないことから、現時点で外洋への影響はないものと考えている。

5/15 に採取した分析結果は、全ベータ値で 24Bq/L であり、5/12 に同観測孔で採取した水の分析結果(49Bq/L)と同程度であることを確認した。このことから、5/14 に採取した水の分析値については、先日の台風による影響、または採取時において作業場所で放射性物質が混入した可能性が考えられる。なお、昨日採取したトリチウム値については、検出限界値未満(検出限界値:110Bq/L)だったが、今後も引き続き監視を継続する。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

＜地下貯水槽サンプリング実績＞

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上